



道徳だより



能美市立寺井中学校

平成30年 5月16日(水)

NO. 1

平成30年度が始まり約1か月が過ぎました。先日、1年生は寺井見て歩き、2年生は金沢見て歩き、3年生は修学旅行と、それぞれの学年の最初の行事を無事に終えることができました。今は来週行われる中間テストに向けてどの学年も頑張っています。

さて、今年度も「道徳の時間ってどんなことを学習しているの?」「その学習が学校生活にどうつながっていくの?」などの疑問にお答えできるよう、また、各学年の授業の取り組みを学級・学年を超えて知ることができるよう「道徳だより」を発行します。そして「道徳だより」を通して学校と家庭の連携を図りながら、子どもたちの道徳性を育てていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◆道徳の時間では、どんなことを学習しているのでしょうか?

道徳の内容は、全学年、以下の4つの視点があります。各視点について資料をもとにしながら、1年間でまんべんなく学習するように計画しています。

- A. 主として自分自身に関すること(節度、節制、強い意志、自主自律、自由と責任、向上心 など)
- B. 主として人とのかかわりに関すること(礼儀、思いやり、感謝、友情、信頼 など)
- C. 主として集団や社会とのかかわりに関すること(遵法精神、公德心、勤労、家族愛、郷土愛 など)
- D. 主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(生命の尊さ、畏敬の念、生きる喜びなど)

これらの内容は学校だけではなく、それぞれのご家庭でも大事されているものと思います。今後も学校と家庭で意識を高めていけたらと思います。

◆こんな授業をしました! ~ 4月27日(金)に行われた授業参観の様子 ~

今年度の授業参観も、全校一斉に道徳の授業を行いました。それぞれの学年の授業を紹介します。どの学年も真剣に意見を出し合い、友達と考えを交流していました。授業の途中では、保護者の方々にもご意見を伺いました。ご協力ありがとうございました。

◇1年生の実践

福沢諭吉「心訓」A-(5)理想の実現

福沢諭吉の「心訓」を題材に生徒みんなの心訓を考えました。少し難しいテーマかとも思いましたが、クラスのことを想像して書いたり、自分のことを振り返っていたりと、すばらしい意見がたくさんありました。是非、ご家族でまた話し合ってみてください。



福沢諭吉の「心訓」



- 一、世の中で一番楽しく立派なことは、生涯を貫く仕事を持つということです。
- 一、世の中で一番みじめなことは、人間として教養のないことです。
- 一、世の中で一番さびしいことは、する仕事のないことです。
- 一、世の中で一番みにくい事は、他人の生活をうらやむことです
- 一、世の中で一番尊い事は、人のために奉仕し決して恩に着せないことです
- 一、世の中で一番美しい事は、すべてのものに愛情を持つことです。
- 一、世の中で一番悲しい事は、「うそ」をつくことです。

みんなの「心訓」 (一部抜粋)

一、世の中で一番楽しく立派な事は、〇〇です。

- ・友達と遊んでいるとき ・助け合い ・人助けをすること ・人の長所を見つけそれを生かすこと ・生きること
- ・みんなで笑えること ・堂々と生きること ・人と喜びをわかち合うこと ・信用できる人がいること

一、世の中で一番みじめな事は、〇〇です。

- ・戦争をすること ・仲間外れにすること ・自分をだめだと思うこと ・努力しないこと ・悪口を言うこと
- ・人の失敗を笑うこと ・チャレンジしないで逃げてしまうこと ・関係のない人を巻き込むこと

一、世の中で一番さびしい事は、〇〇です。

- ・自分を必要としてくれる人がいないこと ・誰からの信用もないこと ・忘れられること ・仲間外れ
- ・自己中心的なこと ・悩み事を相談できないこと ・友達がいなくなること ・困ったときに頼れる人がいないこと

一、世の中で一番みにくい事は、〇〇です。

- ・人をバカにすること ・差別 ・嘘で塗り固めること ・人が嫌がることをすること ・いじめ
- ・周りの人の事を考えられない人 ・戦争が起こること ・嘘をつき続けること ・人を雑にあつかうこと

一、世の中で一番尊い事は、〇〇です。

- ・生きているということ ・人を大切にすること ・ごはんを食べられること ・勉強 ・記憶 ・子ども
- ・正しい行動ができたとき ・命 ・心があること ・次の世代の人を育てること

一、世の中で一番美しい事は、〇〇です。

- ・笑顔でいられること ・苦しんでいることを助けること ・みんなが平和でいられること ・星空
- ・やさしさ ・体を動かせられること ・自然 ・人を大切にすること ・生きること

一、世の中で一番悲しい事は、〇〇です。

- ・大切な人が死ぬこと ・戦争 ・裏切り ・無視されること ・自分で自分の命をうばうこと
- ・愛というものを知らないこと ・ひとりぼっち ・当たり前の生活ができていないこと

【生徒の感想】

- ・いろいろな人の心訓を聞いて参考になりました。誰かのために自分から行動すること、という心訓はとってもいいと思いました。
- ・みにくい事や美しい事を書いて、友達のものを見るといろいろな意見があって、自分のお手本になるものがあったと思います。
- ・みんなで意見交流をしたとき、自分と似たようなことを書いていたり、自分とは全然違うことを書いていた人もいて、交流してよかったと思った。
- ・自分の中の「心訓」を大切にして、これから生きていきたい。

→ 裏面へ続く

◇2年生の実践

「今日の主役」 ～東京ディズニーランド カストーディアルの精神～ C-(13) 勤労の尊さ

そうじは、汚れているからするのではなく、汚さないためにするんだ。
汚せないくらい綺麗になれば、捨てることに躊躇するんだよ。
そうなれば、ゴミを捨てる人はいなくなる。
劇場の舞台に、ゴミを捨てる観客はいないだろう？
それと同じで、ここも舞台なんだ。
僕らは、舞台を作るためのエンターティナーなんだよ。



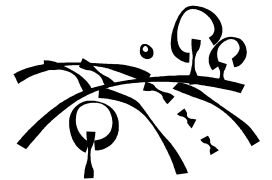
ディズニーランドでそうじ係として働く「カストーディアル」にまつわるお話について考えました。「赤ちゃんがハイハイできるくらいきれいにする」という目標や、「そうじは汚れているからするのではなく、汚さないためにする」というお話から、考えさせられることは多かったようです。自分たちの掃除の仕方について考えるいい機会となりました。

【生徒の感想】

- ・そうじはちゃんと隅々まですることが大切で、夢を与える舞台の裏では、掃除をしっかりとしているということが分かった。
- ・私はチャックさんの話を聞いて、そうじは汚れているからするのではなく、汚さないためにするということが分かりました。これから掃除をするときはそのことを考えて学校を汚せないくらいきれいにできるようにがんばりたいです。
- ・教室がきたなければ悪い方向へなびくけど、きれいだったら、(こんなにきれいだったらよごせないし、ゴミ箱に捨てよう)となる気がする。
- ・カストーディアルの人達のように、みんなが汚したくなくなるようなところを作るなど、みんなが心地よい環境を作れたらいいなと思いました。
- ・お客様に対して常に気を配り、掃除の概念さえくつがえしたチャックさんとその他のカストーディアルさんたちは、素晴らしいプロ意識を持っているんだなと感じました。自分もカストーディアルさん達のように気を配り、いい環境をつくれる人になりたいと思いました。
- ・チャックさんの言うとおりでと思います。汚れたからそうじするのではなく、汚れないためにそういう環境を作っていくべきだと思います。私生活ではもちろんのこと、2020年の東京オリンピックに向けて、お客様がごみを捨てないようにしていきたいともいました。
- ・チャックさんが言っていたように私もごみを捨てられないような環境を作っていきたいなと思った。ディズニーランドにゴミがない理由が分かりました。

◇3年生の実践

「道はいつもひらかれている」 A-(3) よりよい自己の追求



本資料は古谷綱武さんの22連からなる詩です。自らの人生を自らの手で切り開いていくためにあるべき心のあり方を述べています。授業では、資料を読んで、印象に残ったり共感できたりする連を選び、理由を書いてもらいました。



【生徒の感想】

- 自分の人生は自分にしか変えられないんだなと感じました。人と比べるのではなく、自分が選んだ道を自信を持って生きていきたいと思いました。
- どの文章もすごく心に響くいい言葉だと思ったし、自分を強くするためには自分を一番信じてあげないといけないと思いました。言葉には色んな思いが込められていてすごいなあと思います。
- 久しぶりに心に刺さるような良い詩に出会えてよかったです。これから誘惑や失望に負けずに頑張っていきたいです。
- 自分の人生は無限大の可能性と自分で変えることができるチャンスがあることを学んで、あきらめずに頑張っていこうと思えました。
- この詩の中に色んなことが書いてあったけど、この中の一つを意識するだけでも人は変われると思ったので、小さなことでも意識することが大切だと思いました。
- これから自分の人生には色んなことがあると思うし、逆に良いことも悪いこともない人生はおもしろくないと思う。色んな失敗をしてこそ良い人生につながるし、社会で役立つために自分の人生を楽しんだ方がいいと思う。
- 道はいつでもひらかれていて、そこを閉じてしまうかは自分次第だなと思いました。これから進路とかいろいろあるけれど、自分と見つめ合って決めていきたいと思いました。
- 今日の学習でみんなはこれからどうしようとしているのかなどが伝わってきたし、僕が選んだ詩のように何度も何度もやり遂げるまで挑戦していきたいと思いました。自分と少しでも共感できる人がいてうれしかったです。
- この22連を読んでみて、まだまだ人生始まったばかりだから、色んなことを発見して色んなことに挑戦してあきらめずにやりきりたいと思いました。

◆保護者の皆様からの声

先月はお忙しいなか、道徳の授業を参観しての感想や授業の中でも担任の急な声かけに対して、さまざまなご意見をいただき、本当にありがとうございました。感想の一部をご紹介します。

- ◇娘の様子を見ながら、私も「世の中で一番…」に続くことを考えた1時間でした。この「心訓」はとても大事なことばかりで子ども達から発表される意見もとても良い意見ばかりで、優しい子がたくさんいるのだなあと思いました。今日の授業参観での自分の意見やお友達の意見をずっと心に持ち続けて娘には充実した楽しい中学校生活を送ってほしいと思います。
- ◇思春期に入り、今日のような心訓の話し合いにも恥ずかしながら臆することなく、友達と話すことができるのも先生の指導がままとまっている証拠だと思います。生徒達をうまく引き出して下さっています。
- ◇自分たちで考えさせ、色々な答えを出した後に、作者本人の考えを出したことが良かったと思います。
- ◇集中して授業に参加している様子を見させて頂き驚きました。また内容も「生きる力」「社会力」を身につけていく子ども達に不可欠な大切なもので自分自身もためになりました。今後ともよろしく願いいたします。先生と子供達の信頼関係も育ってきていることが伝わり、うれしく思いました。
- ◇社会で大切なルールやマナーを分かりやすく授業して頂いて良かったです。ありがとうございました。
- ◇道はすべての人にひらかれているが、心の持ちようですべて見方が変わってくるのだと改めて考えさせられました。子ども達の意見であきらめない心、努力し続けること、したくないことを進んですることが大切、という意見が多くうれしかったです。
- ◇まさか親が発表するとは思いませんでしたが、考えさせられるいい授業でした。子ども達もちゃんと考えていて良かったです。家ではあまりしゃべらないので、いつもと違う子どもの様子が見られて良かったです。
- ◇この授業でしか話し合えないこと、これからの進路などを決める大切な時期にふさわしい内容の授業だったと思います。子どもも考えて自分の生きる道を決めてほしいと思います。